山名一族会報

全國山名氏一族会
〒667-1311兵庫県美方郡香美町
村岡区村岡2365法雲寺内
電話0796-98-1151
FAX0796-98-1161

役員会で本年度行事を協議

去る４月２６日に京都にて役員会を開催し、今後はコロナ感染症の流行も徐々に落ち着くものとの前提で、山名会総会を中心とした令和５年度の活動計画について協議しました。今回はその概要をご報告します。

役員会でよくお世話になる六孫王神社会館。古風で駅から少し遠いけど使いやすい。

今年の春の訪れは平年に比べて一足も二足も早く、役員会を開催した六孫王神社会館境内の八重桜も例年ならば５月初旬まで花が楽しめるのですが、今回は既に咲き終わって若葉が鮮やかな緑を光らせて居りました。昨年の１２月に開催した〈近隣理事も参加した〉拡大版の役員会に引き続いての、今回の役員会では今年度の活動に関して具体的な計画等を相談致しました。

義晴総裁ご逝去の報

今回の役員会では冒頭の報告事項で、皆さんには思いがけない訃報をお知らせせねばなりませんでした。

本年２月にかねてより入院治療に励んで居られました村岡山名第１５代当主で山名会総裁をお務め願っていました山名義晴様がご他界なさいました。役員会には弟君の義英副総裁がご参加いただき、このことについてのご報告をいただきました。

義晴総裁は山名会が平成２４年に活動を再開させて以来、今日まで、先代当主の晴彦総裁の例に倣い山名会総裁の役にご就任いただき、普段の活動については義英副総裁に託されながらも、会の活動が自由に伸びやかに出来るようにご理解を示していただき、会を見護り続けていただきました。心より義晴総裁のご冥福をお祈りいたします。〈「義晴総裁ご逝去」の記事もお目通しください。〉

新総裁ご上任について

義晴総裁のご逝去に伴い、空位となりました総裁職には、１６代として山名家を引き継ぎ護られている義英副総裁に総裁職に就いていただくのが順当であろうと役員会では話し合い、参加役員全員の総意として義英副総裁に総裁職への就任をお願いしたところ、義英様には快く引き受けていただけました。

義英新総裁には、今まで以上に山名会の活動に関わっていただき、会の活性化に向けたアドバイスやご指導をお願い出来ればと考えて居ります。

義晴総裁ご逝去

WEB版に付き掲載せず

会誌『山名』第８号

前号・７号の発行が令和２年で、コロナ感染症流行期間を挟んで、３年が経過しております。今までの『山名』各号では、活動期間中に行った歴史講演録を主要記事として掲載していたのですが、この３年余りは活動が出来ておりませんので、ページ数確保に苦慮し、会員諸氏のご寄稿に頼るところです。役員会に於いてページ数確保の御協力をお願いさせていただいたところ、執筆者ご紹介や、役員からの原稿提供をいただき、６０～７０ページぐらいの原稿量が確保できそうです。発行は夏頃になるかと思いますが、バラエティーに富んだ掲載内容となるようですので、ご期待下さい。

山名会総会の計画

猛威を振るってきたコロナ感染症の流行も少し落ち着きを見せて来たようですので、この秋には令和元年から４年振りになります山名会総会を開催する計画を立てております。

久々の総会及び歴史探訪の行事なので、主会場の選定には役員会でも様々な意見があったのですが、今回は昨年の大河ドラマでも脚光を浴びた、武家政権の出発点である鎌倉を中心とした旅程を考え、現在訪問先等の確認を行って居るところです。

総会の実施日は１１月２９日（水）～３０日（木）の１９泊２日を予定しており、第１日目はお昼前に鎌倉駅に集合の後は、貸切バスと徒歩で源氏ゆかりの史跡や寺社を巡り、第２日目は場所を町田・相模原に移して、織田・豊臣関連の歴史美術鑑賞と、歴史講演・年次総会等の行事開催を考えて居ます。

コロナ後と言う事で、有名な観光地は何れも大変な人出となっていますので、開催日につきましては平日を考えて居ります。お勤めの方にはご面倒を掛けますが、お休みを都合していただきご参加下さいますようお願いします。

鎌倉大仏（高徳寺HPより）

晩秋の鎌倉路で、皆様と共にゆったりと源氏ゆかりの場所を巡る事が出来ればと、願っております。

令和５年総会の詳しいご案内は、夏に入りましてから差し上げたいと思いますが、会員の皆様方には１１月２９～３０日を予定していただけますようお願いします。

（計画中の旅程案を同封します。）

山名豊国（禅高）公四百年遠忌（2025年頃）

来る令和７年（２０２５）には、山名氏中興の祖である村岡山名初代・山名豊国公の四百回忌を迎える事になります。

記録に依れば、百年前の三百年遠忌は大正１３年（１９２４）に、遠忌法要に加えて娯楽の少ない時代であったので芝居や相撲の興業、仮装行列などを企画して、多くの人々に祭りを楽しんで貰った様子。

５０年前の三百五十年遠忌は、昭和４８年（１９７３）に「山名祭」と称して、小坂博之著「山名豊国」の発刊や、諸堂整備・山名氏顕彰の記念法要や行事を実施して、この流れが後に熟成して、「山名氏一族会」の発足へと繋がったようです。

山名豊国公イメージ

さて、コロナ禍を経てやがて迎える四百年遠忌、少し出遅れた感があるので正当年に開催できるかどうか不安はありますが、今の時代に即した良い（又は楽しめる）企画があれば、事務局までご提案をお願いします。

令和５年会費納入のお願い

この数年間は活動が出来なかったので、令和３年・４年の２年間は年会費のご請求もお休みさせていただいておりました。令和５年度からは通常の活動に戻したいと考えて居ります。つきましては、本年度は例年通りの納入をお願い致します。

会員の皆さんには、お送りした郵便振替用紙をご利用の上、年会費のご納入をお願い致します。